

『実話報』からみる旅順・大連の抗戦勝利記念日

抗戦勝利記念日、終戦の日、実話報、大連、中国共産党

梅村 卓

本稿は、ソ連軍が駐留した旅順・大連地域における抗戦勝利記念日のあり方を、中ソが共同で発行した『実話報』の記事をもとに考察するものである。共産党中央や東北地域では、当初、日中戦争の勝利を記念する抗戦勝利記念日は8月15日とされていた。しかし『実話報』の報道によれば、旅大においては8月15日と並んでソ連が記念日とした9月3日が早くから記念され、さらに8月22日などソ連軍による旅順・大連の「解放」記念日と結びつきながら独自の記念体系が形成されていた。そしてこれらの記念は、ソ連への支持を強固にするための宣伝活動や「反米扶日」の運動と軌を一にして展開されていた。この旅順・大連における記念日としての9月3日は、その後ソ連軍司令官から東北局へ、また東北局から中央へと、東北地域の記念日とするよう提起され、1951年の国家的な抗戦勝利記念日の改定に結実することになる。